

## ごあいさつ

本日ここに、第54回通常総代会を開催しましたところ、総代の皆様をはじめ、ご来賓の皆様にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。また、平素よりJAの各種事業に対しまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2018年を振り返りますと、北海道胆振東部地域を震源とした巨大地震や西日本を中心に記録的な大雨と自然災害の多い一年となりました。また、政府主導の農協改革の評価期限を終え、改正農協法による准組合員利用規制の可否を検討する期限が再来年3月に迫っています。これを受け、JAグループでは、平成27年度から自己改革を実施し、組合員の皆様に「JAがあって良かった」と評価されるJAを目指しています。この運動の一つとして、全組合員のお宅を職員が訪問し、JAの利用状況や必要性など調査する「全組合員調査」を実施しました。組合員の皆様から頂いたご意見を集約し、今後の経営に生かして参ります。

一方、県下東部地区JAは、昨年7月に「東部地区JA合併研究委員会」を設置しました。組合員の高齢化やマイナス金利政策などJAを取り巻く環境は厳しさを増し、「農業所得の向上」「地域社会への適切なサービス提供」が継続して実施できるか不透明な状況となっております。東部地区8JAが合併することにより、「農業を主軸とした地域協同組合」としての研究を進めて参りました。合併については、引き続き協議を進めた中で広報誌等を通じて組合員の皆様にもお伝え致します。

さて、当JAにおきましては「JA富士宮3か年計画 ～ともに拓こう、協同が輝く時代～」の中間年度にあたる昨年度は、「農家組合員の所得向上」「くらしの豊かさの実現」「JAの健全な運営」の3つを基本目標のもと、全役職員が一丸となり取り組んで参りました。

1つ目の目標である「農家組合員の所得向上」については、県下1位の生産量を誇る「落花生」のブランド化に向け、各種メディアを通じた情報発信と講習会・品評会を開催し、品質向上と販路拡大に取り組めました。また、県下最大の売上げを誇るファーマーズマーケット「う宮〜な」は、3年連続で10億円を突破しました。更なる販売促進強化と利用者の利便性を図る目的として増床工事を行ない、3月にリニューアルオープン致しました。増床に伴い、レジの増設や鮮魚の販売など豊富な商品の確保にも努めています。

2つ目の目標である「くらしの豊かさの実現」については、各支店の運営委員と各部会組織が、連携し取り組んでいる「1支店1協同活動」や近年増加している年金・相続等に関する疑問を解決する為、「年金相談会」「遺言信託個別相談会」などを開催致しました。また、初の取り組みとして行なった「JA富士宮農協まつり」では、全職員と各部会組織が協力し地域住民へのサービス提供とJA事業の理解促進に努めました。

3つ目の目標である「JAの健全な運営」については、「JA富士宮 経営の効率化・合理化」を重要課題として取り組んでいます。「農業振興の支援強化」「JA経営の安全性・健全性」を図り、組合員の皆様に今後も安心して利用して頂けるサービス提供を実現する為、既存店舗を再編成し、健全経営継続のための計画を策定致しました。店舗再編に関しましては、会議を重ねた結果「西部支店」「杉田支店」「山宮支店」を再編対象店舗に意思決定致しました。

結びに、本日ここにご参加頂いた総代の皆様をはじめ、ご臨席頂きましたご来賓の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈願申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

令和元年6月 富士宮農業協同組合